

戦争という過ちを

繰り返さないうために

富見市長 星野信吾

今年にはオバマ大統領が現職のアメリカ合衆国の大統領として初めて広島を訪れ、昨年の戦後70年に引き続き、非常に印象深い年となりました。

広島平和記念公園にて、オバマ大統領が被爆者の方と握手をし、語らい、抱擁を交わしていた姿は非常に感慨深いものがありました。

しかしながら世界各地で紛争が繰り返され、国同士の争いだけでなく、宗教や思想的に対立する者同士の争いも顕在化しており、さらには、テロという新たな脅威も広がりを見せるなど、

我々人類が争いのない平和な世界を実現できるのは、まだ先のことのように思えてしまいます。

オバマ大統領と対面した被爆者の坪井直さんが、「我々は恨みを乗り越えている。未来志向で核兵器のない世界をつくりましょう」と語られたことは、人間が目指すべき境地の一つであるように思います。

私たちが戦争や原爆の悲惨さと恐ろしさを風化させずに語り継ぎ、伝えていかなければならないのは、決して当事者間の罪や業を指摘し合ったり憎しみを募らせるためではなく、同じ人間同士が傷つけあうことの愚かさを認識し、戦争は悲しみや苦しみ以外何も生まないということです。

そして、唯一の被爆国である日本に生きる私たちは、平和の尊さと核兵器廃絶を訴え続けていく使命があります。市は、これまでも「日本非核宣言自治体協議会」や「平和首長会議」に加盟し、各地の自治体と手を結んで平和と核兵器廃絶を呼びかけてきました。

また、私は、来る8月6日、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参列してまいります。広島市の原爆慰霊碑の前で、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しません。」と、

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

- 広島市原子爆弾投下日 8月6日午前8時15分
- 長崎市原子爆弾投下日 8月9日午前11時2分
- 終戦記念日 8月15日正午

日本非核宣言自治体協議会

核戦争による人類絶滅の危機から生命と暮らしを守り、世界恒久平和実現を世界の自治体に呼びかけ、その輪を広げるために努力することを目的として昭和59年に設立されました。平成28年6月1日現在、319の自治体が会員となっています。

富士見市 1987年加盟

平和首長会議

核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、世界恒久平和の実現に寄与することを目的として、広島・長崎市が中心となり昭和57年に設立されました。平成28年6月1日現在、全世界161か国・地域7,063都市が賛同し、加盟しています。



富士見市 2009年加盟

原爆犠牲者のご冥福と世界恒久平和の実現を強い決意で誓い、戦争という過ちを繰り返さないために、戦争を絶対に風化させずに、平和への思いを未来へつなげていきたいと思っております。皆様におかれましても終戦の日の8月15日を前に、改めて「富士見市非核平和都市宣言」を読み返していただき、平和への願いをより一層深めていただきたいと思っております。



富士見市非核平和都市宣言

私たちは 何よりも家庭の平和を願い世界の平和を願っています。

しかし 地球をおおっている核兵器は世界の平和と安全を脅かしています。

私たちは 広島・長崎の過ちを再び繰り返させてはなりません。

私たちは 平和憲法を大切に、世界中の人びとと手をつなぎ核をもつすべての国に「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます。

この市民の声と願いを非核平和都市富士見市の宣言とする。

1987年7月19日 富士見市